

南米の不振な季節を終えて、ブルーベリーは北米に移行中

[FreshPlaza](#) 2024年3月25日

ブルーベリーの出荷は南半球から北半球へと移っている。ペルー産果実の出荷量の減少に続いて、チリ産の出荷も今週で終了する。業界の活動は北上し、メキシコ産の出荷が増え、米国国内産の出荷がフロリダ州から始まる。グルメ商会(本社:米国カリフォルニア州)のアドリアーナ・フォーチュン営業部長は、「サンシャインステート(フロリダ州)の出荷量は着実に増加し、4月上旬までに最大に達すると予想される」と述べている。(以下「」は同氏の発言)

チリでは予想外の展開

「南米産ブルーベリーの出荷シーズンを振り返ると、冴えないと表現するのが適切である。残念なことに、チリからの出荷が終了すると業界が予想していた時期に出荷量が急増した。」チリの出荷は2月まで続かないという見方が広がっていたため、同月に予定されていた宣伝活動が少なく、増加した数量を売りさばくことが困難であった。「市場は不意を突かれた形であった。」

また、品質に対する認識も需要不足の大きな要因となった。「今年の標準に満たない品質が多くの小売業者の印象に残っており、今年の生産物に対する信頼の欠如につながった。」今年は全体的な品質は向上したが、それでも理想的とは言えない品質が見られた週もあった。「チリの出荷シーズンの前半は大きな期待を抱かせたが、予期せぬ数量の急増と価格の低下が軌道を狂わせ、後半は残念な終わり方となった。」

切れ目のない移行

チリ産のシーズンが終わり、焦点はフロリダ州に移り、グルメ商会は国内シーズンの開幕を心待ちにしている。現在の米国内の出荷量は限られているが、今後7日間で大幅な増加が見込まれている。「4月後半から5月になる頃までには、ジョージア州やカリフォルニア州だけでなく、他の地域でも出荷が活発化するだろう。」すべての産地が協力して取り組むことで、切れ目のない移行が保証される。「自然条件が好ましければ、切れ目のない供給ができるものと期待している。」

「需要面では、輸入もののブルーベリーに依然として多くの関心が寄せられている。しかし、ペルーの出荷量不足とそれに伴うこの冬の出回り量の少なさは、市場の成長路線を際立たせ、ブルーベリーに対する消費者の旺盛な需要を示している。」

同氏は、この品薄の影響により、消費者がニーズを満たす代替の産地を求めているため、国内産ブルーベリーの需要が高まる可能性があると予想している。「すでに価格が着実に上昇している。」4月と5月には国内産の出荷量が増加し、販売促進活動が活発化して市場での存在感を高め、取引先の活動を促進することが予想される。

同社の目標は、取引先と緊密に連携し、正確な情報を提供し、取引先のニーズに合った販促活動の実施を支援することである。

「弊社はこの国内産シーズンのスタートに向けて準備万端であり、やる気満々である。」

執筆者: マリーケ・ヘムズ

(翻訳記事は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品等を推奨するものではありません。)